

平成 27 (2015) 年度ながの環境パートナーシップ会議活動報告書

活動の概要

平成 27 (2015) 年度は、長野市の環境ビジョンの実現に向け「つなぐ・伝える・行動する」を行動指針とし、プロジェクト、フォーラム、広報活動などに取り組みました。

1 各プロジェクトの活動

(1) プロジェクト及びスペシャルプロジェクトへの取り組み

① 光害対策プロジェクト

自動計測装置を設置し光害の調査を実施しました。光害シンポジウムへ参加して、他団体との情報交換を行い、啓発活動を行いました。

② 生ごみ削減・再生利用プロジェクト

生ごみ堆肥化のキャラバン隊活動を安茂里地区・若槻地区・芹田地区を維持しました。長野産「生ごみ堆肥化基材セット」の確立をしました。ビタピー5と専用段ボール箱が市の補助金対象から外されたが、幹旋基材として300円で生ごみ減量講座にて提供しました。

③ レジ袋使用削減プロジェクト

「マイバックフェスタ」の開催やキャラバン隊によるマイバック持参PRを行いました。千曲川流域レジ袋削減協議会に参画し、広域で継続したレジ袋使用削減への取り組みを行い、マイバック持参率が60%を超えました。

④ 市民の森づくりプロジェクト

森を管理する団体や地元の意見の調整が難しく、第二の市民の森選定作業が進みませんでした。市民の森（ボブスレー・リュージュパーク内）の定期的な整備や、「森づくり市民講座」や、きのこ駒打体験、かんじき体験会等を開催しました。

⑤ 太陽エネルギー普及促進プロジェクト

各種イベントに参画し啓発活動を行いました。水力発電の視察による比較で、太陽光発電の良さを再確認することができました。

⑥ 聖山自然復元プロジェクト

大岡小学校の緑の少年団との協働活動として、樹木苗木の育苗作業を行いました。大岡森林塾との協働が実現し、聖山の生物多様性保全活動の機運が生まれつつあります。信州大学工学部「地域環境演習Ⅰ」の受け入れによる環境学習への協力を行いました。

⑦ 子どもの環境学習支援プロジェクト

中高生を対象とした環境学習の支援として「第4回国際ユース環境会議」を37名の参加により開催しました。また、ユースの継続的な交流も形成することができました。

⑧ ながのカーボンオフセットプロジェクト

事業者・団体・市民が手軽に参加できるカーボンオフセットクレジット（CO2 排出権）の制度設計を予定していたが、具体的な活動の展開には至りませんでした。

⑨ 小生物の生育環境保全プロジェクト

オオムラサキ繁殖地の整備を実施し、松代地区内の小・中学校や一般市民を対象として、観察会を実施しました。メダカの生息水路の整備も行き、小生物の保護・啓発を図りました。

⑩ 生態系豊かな、水に親しめる川づくり（水環境保全）プロジェクト

休会（活動継続に向け調整中）

⑪ <ながの環境団体大集合 2016 スペシャルプロジェクト（SP）>

ながの環境団体大集合の開催に向け、スペシャルプロジェクトを立ち上げ、全体構成やコンテスト

の方法等について大学生や各種団体等との協働により企画し、開催しました。

(任期：10月28日(木)から3月11日(金)まで、会議開催数：6回)

【リーダー】 河西弘明(ながの環境パートナーシップ会議)

【メンバー】 廣田(長野市市民協働サポートセンター)、小宮山(長野市ボランティアセンター)
田岡、澤田(信州大学工学部学生)
堀池(長野市地球温暖化防止活動推進センター、ながの環境パートナーシップ会議)
高木、渡辺(ながの環境パートナーシップ会議)、高橋(事務局)

(2) 信州大学工学部「地域環境演習 I 2015」の受け入れ

信州大学工学部が、「自分でPDCAサイクルを機能させて行動できる人材」の養成を目指し実施する「地域環境演習 I 2015」の受講生を、各プロジェクトチームで受け入れ、環境保全活動を行いました。

9月26日(土)には信州大学工学部で、参加学生による活動成果発表会が行われました。

【信大生の受入人数】 11人(前年度20名)

【受入プロジェクト】 生ごみ削減・再生利用 3人、レジ袋使用削減 1人、
聖山自然復元 4人、子どもの環境学習支援 3人

2 ながの環境パートナーシップ会議全体での活動

(1) 公開学習会

地球環境の現状や変化を宇宙からの目線で映し出すデジタル地球儀を用いて、地球温暖化問題や環境保全のあり方について、見て・聞いて・触れて体感し、一人ひとりがさまざまな環境問題について考えるきっかけになることを目的に、体感型の公開学習会を開催しました。

日時：平成27年12月5日(土) 10:00~12:00

会場：長野市生涯学習センター3階 第1・2学習室

【講演】 触れる地球でみる 生きている宇宙船地球号
～私たちがいまできること～

【講師】 宮澤 信 氏 (長野県地球温暖化防止活動推進員・気象予報士)

【参加者数】 48名(前年度26名)

(2) ながの環境団体大集合 2016 ～ながの環境活動コンテスト～

将来世代によりよい環境を残すために、企業や団体などの環境保全活動を多くの市民に伝え、ともに活動するきっかけとするために「ながの環境活動コンテスト」を開催しました。

参加団体のブース展示により発表と交流の場を作り、来場者全員による投票により審査を行い、評価を得た団体には「環境を良くするためにがんばっているで賞」などの表彰を行いました。

日時：平成28年2月14日(日) 13:00~16:40(開場12:30)

会場：長野市生涯学習センター4階 大学習室1・2・3

【基調講演】

講師：^{すぎもと} 楳本育生 氏 (認定NPO 法人環境市民代表理事)

演題：「次の世代につなぐ」

【PRタイム】

各団体1分間で活動アピールを行い、展示ブースに誘いました。

【環境活動発表(17団体)】

- 団体：母さんの玉手箱本舗企業組合、フードバンク信州、
NPO法人みどりの市民、NPO法人 ecology&eco-lives 信州
- 企業：株式会社長野地方卸売市場
- 学校：長野県更級農業高等学校環境科学コース
- 行政：環境省長野自然環境事務所、長野市地球温暖化対策室
- ながの環境パートナーシップ会議プロジェクトチーム
光害対策、生ごみ削減・再生利用、レジ袋使用削減、市民の森づくり
太陽エネルギー普及促進、聖山自然復元、こどもの環境学習支援
ながのカーボンオフセット、小生物の育成環境保全

【審査委員長】 すぎもといくお 枚本育生 氏（認定NPO法人環境市民代表理事）

【表彰5団体】 環境を良くするためにがんばっているで賞：株式会社長野地方卸売市場
私たちがやってみたくて賞：生ごみ削減・再生利用プロジェクト
夢があるで賞：小生物の育成環境保全プロジェクト
学生が注目したで賞：長野県更級農業高等学校環境科学コース
審査委員長特別賞：NPO法人 ecology&eco-lives 信州

【参加者数】 90名（前年度:130名）

3 広報

(1) ニュースレター発行

配布先：市関係各課、支所、公民館、関係団体等、ながのエコサークルゴールドランク企業等
「手をむすんで」 第36号発行（平成27年11月） 850部
〃 第37号発行（平成28年5月） 850部

(2) ながの環境パートナーシップ会議ホームページの運用

- ・各プロジェクトの出前講座やイベント等の予定や活動報告及び理事会の議事録などを掲載
- ・他団体などから情報提供されたイベント等の掲載

(3) 会員用メールマガジンの発行

各プロジェクトの活動状況、他団体の情報提供、事務局からの連絡など（34回）

(4) イベント等への参加

① 信州環境フェア2015

日時：平成27年8月22日（土）10:00～17:00、23日（日）10:00～16:00

会場：長野市 ビッグハット

ながの環境パートナーシップ会議ブース来場者：約300人（前年度:約400人）

内容：ながの環境パートナーシップ会議の活動紹介（パネル展示、パンフレット配布など）
プロジェクト活動紹介、環境クイズなど（生ゴミ削減・再生利用、レジ袋使用削減
市民の森づくり、太陽エネルギー普及促進、小生物の育成環境保全）

4 他団体との連携

(1) ながの環境団体大集合2016への事業所・環境保全団体への働きかけ

事業所・環境保全団体との連携強化を図るため、周知をはかり参加依頼を行いました。

(2) 「ライトダウンキャンペーン2015inながの」への協力

ライトダウンながの実行委員会の構成団体として、温暖化防止・CO₂削減の啓発活動に協力しました。

【キャンペーン期間】 夏： 6月22日（月）～7月7日（火） 午後8時から10時
冬： 12月8日（火）～12月22日（火） 午後8時から10時

(3) 事業所・環境保全団体との活動の連携

【光害対策プロジェクト】市立博物館や天文同好会と連携して活動を行ってきたことにより、光害対策が行ってきた調査を継続して実施されることになりました。

【生ごみ削減・再生利用プロジェクト】住民自治協議会と協働で、生ごみの堆肥化講座と生ごみ堆肥を利用する講座を開催しました。

【レジ袋使用削減プロジェクト】スーパーの協力を得て、レジ袋削減を考える会など多くの環境保全団体とともに店頭キャンペーンを行いました。

【市民の森づくりプロジェクト】仮称第二市民の森選定作業に伴い、現地の森を管理する団体や地元の方々との意見交換を重ね、協力体制の確立を図っています。

【太陽エネルギー普及促進プロジェクト】ながの生活協同組合 環境部会で、「スローライフと地球温暖化」をテーマに環境研修会を実施しました。

【子どもの環境学習支援プロジェクト】「国際ユース環境会議 in ながの」を、実行委員会、参加スタッフ、支援組織との協力により継続して開催しました。

【聖山自然復元プロジェクト】大岡小学校の緑の少年団との協働により、樹木苗木の育苗を子どもたちも参加して行いました。聖山の生物多様性保全活動を大岡森林塾と協働して行い始めました。

【小生物の育成環境保全プロジェクト】オオムラサキ繁殖地での活動を、住民自治協議会及び他保全団体を含めて組織された連絡会により、計画的な保全と環境学習等による活用を開始しました。

(4) 他環境団体等への周知

ニュースレター「手をむすんで」を市内事業所などに配付をしました。

5 会議

(1) 通常総会

日 時：平成27年6月14日（日）10:00～12:00

会 場：長野市ふれあい福祉センター5階 ホール

出席数：66人（出席21名、委任45名 会員数105名）

内 容：平成26（2014）年度活動報告、収支決算報告、監査報告について

平成27（2015）年度活動方針（案）、活動目標・活動計画（案）、収支予算（案）について

(2) 理事会

ながの環境パートナーシップ会議の運営等について協議するため、理事会を12回開催しました。

第7.8.9.12回の理事会では、プロジェクトリーダーとの合同会議を開催し、各チームリーダーから上半期の進捗状況と下半期の計画等について説明を受け、下半期につなげるために助言をしました。

また、理事会及び合同会議では、事業所会員の参画や、ながの環境パートナーシップ会議の運営体制の見直しなど、本会が持つ課題に対して引き続き対応します。

回数	開催日時	出席理事数	備考
第1回	6月5日(金) 18:30～	7人	
第2回	7月7日(火) 18:30～	8人	
第3回	8月7日(金) 18:30～	8人	
第4回	9月15日(火) 18:30～	7人	
第5回	10月16日(金) 18:30～	7人	
第6回	11月19日(木) 18:30～	6人	
第7回	12月17日(木) 18:00～	6人	合同会議
第8回	1月14日(木) 18:30～	7人	合同会議
第9回	2月18日(木) 18:30～	8人	合同会議
第10回	3月23日(水) 18:30～	6人	
第11回	4月20日(水) 18:30～	6人	
第12回	5月20日(金) 18:30～	5人	合同会議

(3) 各プロジェクトチームミーティング等を随時開催

6 市政への参画

審議会等名称	会員名
長野市環境審議会 委員	金井 三平
長野市廃棄物減量等推進審議会 委員	渡辺 ヒデ子
長野市食育推進審議会 委員	佐藤 敏夫
長野市市民公益活動促進委員会 委員	弓場 法、河西 弘明

※ 審議会状況はホームページに掲載

7 その他

(1) 会員

平成28年5月末現在の会員数 115人(平成27年5月末 105人)

(2) ながの環境パートナーシップ会議への年間活動参画者数

平成18年度 1,676人

平成19年度 2,495人

平成20年度 3,152人

平成21年度 2,448人

平成22年度 2,790人

平成23年度 4,116人(第四次長野市総合計画 前期計画 目標値 3,000人)

平成24年度 4,176人

平成25年度 3,638人

平成26年度 3,566人

平成27年度 3,766人